

20140906茨城新聞掲載

茨城論壇

今県内3カ所で、がん患者会・サロンのグループサポーター(世話役)養成講座「がんのトータルケアを考える」が、奇り添うことの意味が示されている。主催はがん患者家族並びにがん医療に関心を持つメンバーからなる特定非営利活動法人茨城県がん地域医療を考える会である。すでに、県北(東海村総合福祉センター)、県南(東京医科大学)で開催した。3回目は県央(水戸医療センター)会場で、9月20日に開催を予定している。

本講座の開催趣旨は、がん対策基本法とがん対策推進基本計画にのっとり、がん診療拠点

元近畿大学理工学部講師

佐藤 好威

サロンの基本は「傾聴」

病院にがん患者会やがん患者サロンを開設するためのグループサポーター(世話役)の養成である。これまで2回の論壇(4月19日、6月28日付)で記したように、患者本位のがん対策は今やがん患者家族や県民の協働に他の人の心情を尊重することだ。

病院にがん患者会やがん患者サロンを開設するためのグループサポーター(世話役)の養成である。これまで2回の論壇(4月19日、6月28日付)で記したように、患者本位のがん対策は今やがん患者家族や県民の協働に他の人の心情を尊重することだ。

病院内にがん患者会やがん患者サロンを開設するためのグループサポーター(世話役)の養成である。これまで2回の論壇(4月19日、6月28日付)で記したように、患者本位のがん対策は今やがん患者家族や県民の協働に他の人の心情を尊重することだ。

病院内にがん患者会やがん患者サロンを開設するためのグループサポーター(世話役)の養成である。これまで2回の論壇(4月19日、6月28日付)で記したように、患者本位のがん対策は今やがん患者家族や県民の協働に他の人の心情を尊重することだ。

病院内にがん患者会やがん患者サロンを開設するためのグループサポーター(世話役)の養成である。これまで2回の論壇(4月19日、6月28日付)で記したように、患者本位のがん対策は今やがん患者家族や県民の協働に他の人の心情を尊重することだ。

病院内にがん患者会やがん患者サロンを開設するためのグループサポーター(世話役)の養成である。これまで2回の論壇(4月19日、6月28日付)で記したように、患者本位のがん対策は今やがん患者家族や県民の協働に他の人の心情を尊重することだ。

病院内にがん患者会やがん患者サロンを開設するためのグループサポーター(世話役)の養成である。これまで2回の論壇(4月19日、6月28日付)で記したように、患者本位のがん対策は今やがん患者家族や県民の協働に他の人の心情を尊重することだ。

病院内にがん患者会やがん患者サロンを開設するためのグループサポーター(世話役)の養成である。これまで2回の論壇(4月19日、6月28日付)で記したように、患者本位のがん対策は今やがん患者家族や県民の協働に他の人の心情を尊重することだ。